

有限会社 春華堂

運転状況、配送ルートを温かく見守る車両管理で ブランドの看板となる配送車両の安全運転を強化

導入サービス : Vehicle Manager[®]



有限会社春華堂
営業部 営業2課
課長
市川 京氏

「データで見守られている安心感が社員の意識を変えました。今後は安全運転の徹底で無事故の更新に加え、燃料費などのコスト削減にもつなげていきたいと考えています」



ユニバーサルネットワーク株式会社
代表取締役
内藤 賢二氏

「短期間ではあったもののお客さまの課題が明確だったので非常にスムーズに導入できました。今後もお客さま、NTT Comと寄り添い、より使いやすいサービスに進化させるお手伝いをしていきます」

企業情報

社名 有限会社 春華堂

事業概要 静岡を代表するお土産として全国的に知られる浜松の銘菓「うなぎパイ」をはじめ、和菓子から洋菓子までを幅広く扱う地域密着型のお菓子屋。日本古来の趣ある慣習と思いやりの心を礎に、自由で新しい発想で「喜びと感動」をお客さまに提供することで「豊かな安らぎ」と「最高の笑顔」を創造する仕事に取り組んでいる。

URL <https://www.shunkado.co.jp/>

課題

- ・年に数件、業務用車両の交通違反・交通事故が発生
- ・安全運転指導には注力しているものの成果の確認が困難

対策

- ・クラウド型の運行管理サービスを全17台の配送車両に搭載
- ・社員の監視ではなく安全が目的であることを徹底して周知

効果

- ・運転状況の“見える化”で社員の安全に対する意識が変革
- ・サービス導入後、配送車両が無事故を継続中

課題

配送トラックには「うなぎパイ」が大きくデザイン
安全運転指導を徹底するも違反・事故はゼロにはならない

静岡県浜松市に本社を置く有限会社春華堂(以下、春華堂)は、銘菓「うなぎパイ」をはじめとするお菓子の製造・販売を行うお菓子メーカーだ。同社の商品を工場から直営店や量販店に運ぶ配送トラックは、側面に大きな「うなぎパイ」がデザインされていて、ひときわ目を引く。インパクトのある車両はまさに“走る広告塔”ともいえる存在のため、同社ではかねてより社員に対して安全運転の指導を徹底して行っていた。

しかしそれでも十分とは言えなかったと明かすのは、同社営業部の市川京氏だ。「当社では、配送トラックをはじめ30台以上の業務用車両が稼働していますが、軽微なものとはいえ、年に数件の交通違反や事故が発生していました。急加速、急ブレーキといった乱暴な運転は交通事故のリスクを高めるばかりではなく、配送する商品にダメージを与えますし、ブランドイメージにも悪影響を及ぼします。そのため日ごろから安全運転の指導に注力していましたが、指導を受けた社員の実際の運転の詳細までは把握できませんでした。ですから指導による改善状況や効果を確認する方法がないという大きな課題がありました」

同社の課題解決の糸口は、浜松の企業が集まる交流会でもたらされた。その経緯を語るのには、ユニバーサルネットワーク株式会社(以下、ユニバーサルネットワーク)代表取締役の内藤賢二氏だ。「弊社も同様の課題を抱えていたのですが、IoTサービスの導入により交通事故・違反がゼロになりました。春華堂の山崎社長にその話をしたところ、『ぜひわが社でも使ってみたい』という流れになり、ご提案いたしました」

同社は製造業の多い浜松を拠点に、地場企業の課題をITで解決するソリューション事業を

展開。同社の内藤氏は事業の方針を次のように語る。

「弊社は、お客さまへのご提案候補となるソリューションはまず自社に導入して実際に利用してみることをポリシーとしています。実際に使ってみて、サービスのメリットや導入効果はもちろん、サービスのカバーしていない点や不足している点もきちんと把握し、リカバーする対策まで検討を行います。そのうえで自信をもっておすすめできるサービスと判断したら、同様の課題を持つお客さまにご提案をするようにしています。春華堂様に導入したIoTサービスもそのようなプロセスを踏んだのちに、多くのお客さまにご提案をしています」

山崎社長から話を受けた営業部では早速検討を開始。「交通事故・違反による業務効率の低下、保険料の高騰などの課題解決に効果が見込めると判断し、サービスの導入を決定しました」(市川氏)

対策

配送車両17台に運行管理サービスを搭載 “信賞未罰”の周知で現場の懸念を払拭

春華堂が導入に踏み切ったのは、NTTコミュニケーションズ(以下、NTT Com)のIoT車両運行サービス「Vehicle Manager®」だった。これは通信機能やGPS機能を内蔵した小型車載器を搭載することで、車両の位置情報はもちろん、急加速、急ブレーキ、速度超過といった運転状況をリアルタイムに把握。交通事故や違反の削減に加え、日報の自動生成機能で従業員の稼働も軽減できるサービスだ。

ユニバーサルネットワークは浜松市におけるNTT Comのソリューションパートナーである。同社とNTT Comの緊密な連携により、春華堂へのVehicle Manager®導入はスムーズに進行。約1カ月の短期間で「うなぎパイ」トラックを含む17台の配送車両に車載器の搭載は完了した(*)。

「導入当初、社員には『行動が監視されるのでは?』という懸念の声もありました。監視には使わない、あくまで社員を守る、安全運転を支援する目的であることを明言したことで不安は払拭され、徐々に使ってみようというムードになっていきました」(市川氏)

実は、この社員の理解を得るためのアプローチもユニバーサルネットワークのアドバイスによるものだった。「弊社では安全運転を続ける社員を表彰する目的で、Vehicle Manager®を利用してしています。導入の際には社員に対して監視目的ではないことと、未熟な運転や交通違反・事故を罰することはしないので安心してほしいことをきちんと伝えました」と内藤氏が語るように、信賞必罰ならぬ“信賞未罰”の姿勢で臨むことが、スムーズな導入に欠かせないといえるだろう。

なお、車載器を車両に設置するだけで簡単に導入できることもVehicle Manager®の特長の一つ。内藤氏はサービスを提案する立場から「全社員が容易に設置できること」も評価している。

*車両重量7トン以上(最大積載量4トン以上)の大型トラックは、デジタルタコグラフの設置が法律で義務付けられているため、サービス対象外です。ただし、本サービスで提供する車載器を挿入するポート(=OBD-II)があれば設置可能です。

効果

安全への意識変革で無事故記録を更新中 次の一手は配送ルート再編による業務効率化

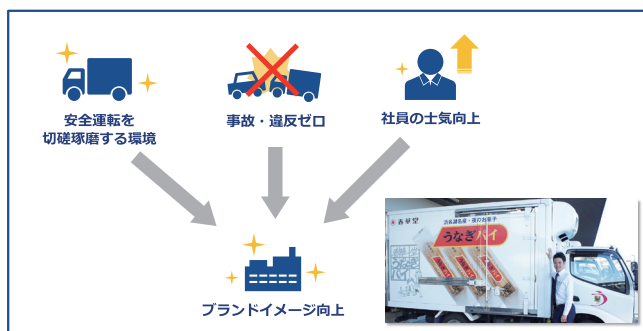
Vehicle Manager®を搭載した17台の配送車両は、導入から約4カ月間にわたり無事故の記録を更新している。導入の最も大きな効果は社員の意識変革にあると市川氏は分析する。「社員が個々に基準速度や急発進、急ブレーキといった運転状況の振り返りができる。しかも、安全運転の社内ランキングが出るため、結果を励みに社員同士が切磋琢磨する環境が生まれており、それが意識変革につながっています。今後は安全運転を評価することに加え、インセンティブなども前向きに検討していく予定です」

市川氏は、わかりやすいサービスであることに加え、管理者と社員で明確に目的が共有できていることが今回のサービス導入施策の成功要因だと振り返る。「サービスとしての使いやすさ、わかりやすさは社員からも好評です。またユニバーサルネットワークには、私たちの改善要望や問い合わせに的確にご対応いただいていますので、今後も使いながら改善を図っていくことでより良い効果を得られるのではないかと期待しています」

今後は、車両運行日報の自動生成により手書きの日報を撤廃。社員の稼働を軽減する取り組みに加え、車両予約システムの導入や危険箇所が地図上に表示される「ヒヤリハットマップ」による注意喚起など、サービスの利用をさらなる業務効率化につなげていく計画だと市川氏は展望を語る。「真っ先に取り組みたいのは、各車両の配送ルートを分析して、配送ルートを効率的に再編することです。再編により配送時間が短縮できれば、生まれた時間を有効活用できるのではと考えています」

最後に、市川氏は同様の課題を抱える企業にアドバイスを送る。「大切なことは厳しく監視するのではなく、温かく見守ること。それが結果的に自社の信頼やブランドの底上げにつながるのです」

図 「Vehicle Manager®」導入効果



POINT

- 社員同士が安全運転を切磋琢磨する
- 表記のサービス内容は予告なく変更することがありますので、お申し込み時にご確認ください。
- 記載されている会社名や製品名は、各社の商標または登録商標です。

お問い合わせ

NTTコミュニケーションズ株式会社

ホームページ www.ntt.com/business

●記載内容は2019年9月現在のものです。
●表記のサービス内容は予告なく変更することがありますので、お申し込み時にご確認ください。
●記載されている会社名や製品名は、各社の商標または登録商標です。